

成田空港における取り組み

取組概要

・本プロジェクトでH28年度に実証実験を行った成田空港では、実証実験成果を元に高精度屋内電子地図及び測位環境を自社で整備し、H30年9月に空港内ナビゲーションアプリ「NariNAVI」をリリース。

機能紹介

- ◆GPSを利用できないターミナル館内における地磁気を用いた高精度な位置測位
- ◆フライト/レストラン/店舗/施設の強力な検索機能
- ◆ご利用便の遅延・搭乗開始等を通知するマイフライト機能
- ◆NTT研究所の「2.5D地図基盤技術」を採用し、通常の2Dマップ表示に加えて平易な立体階層地図（2.5Dマップ）表示も実現

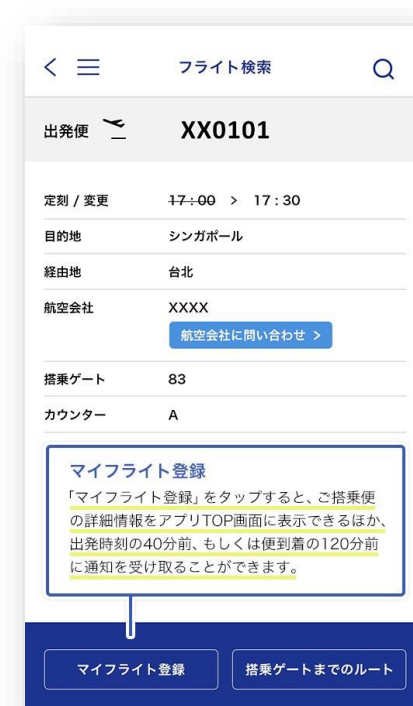
画面イメージ



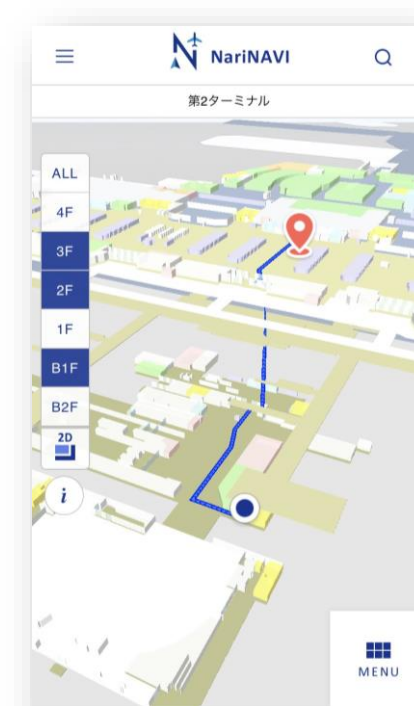
スタート画面



TOP画面



フライト検索



2.5Dマップ

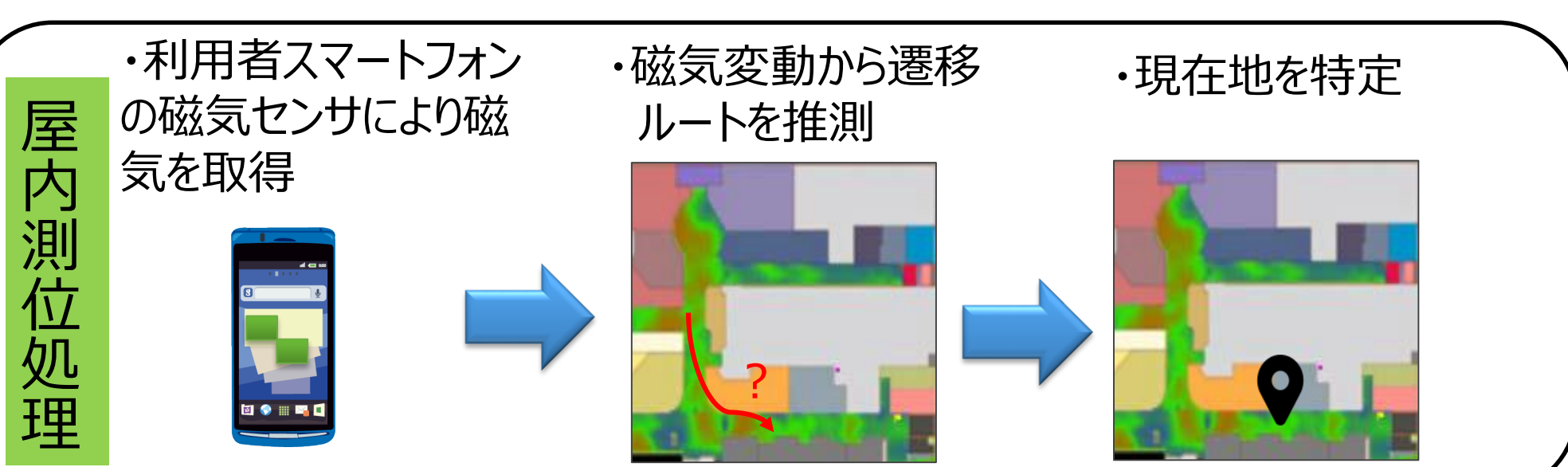
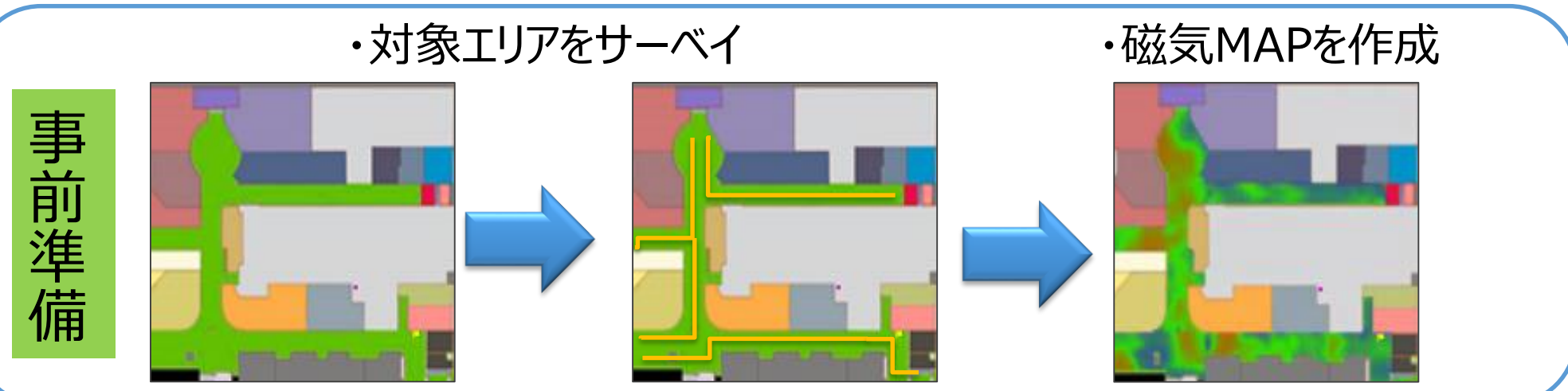
地磁気を組み合わせた屋内測位 (株式会社NTTデータ)

取組概要

- ・地磁気（地球が発する磁場）による測位も組み合わせることで、より高精度な屋内位置測位環境を構築する。

地磁気による屋内測位の仕組み

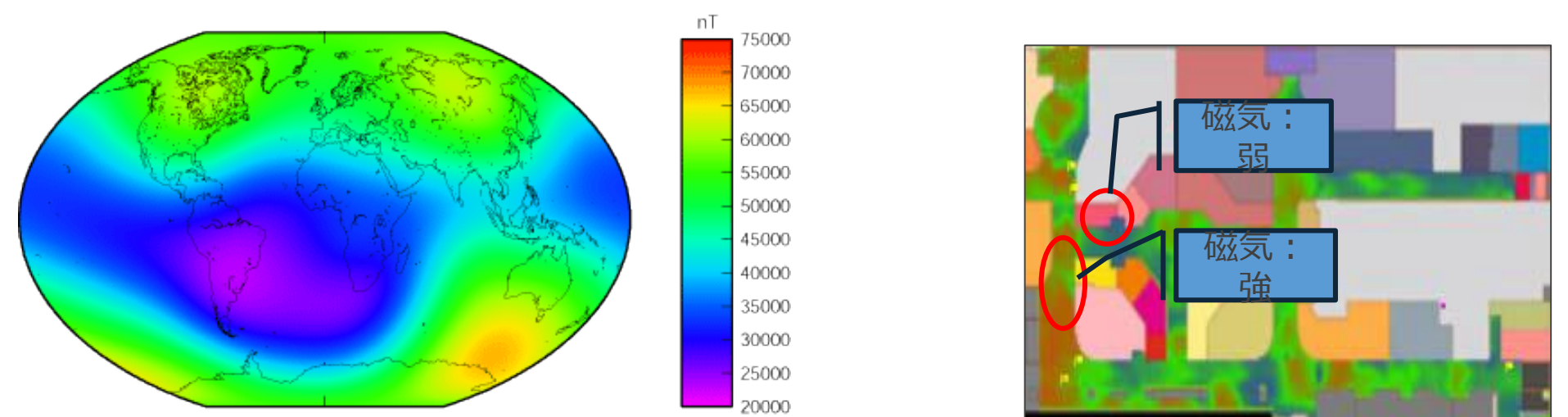
- ・建物の鉄骨等構造物により歪められた磁気指紋を事前にサーベイし、磁気MAPを作成
- ・スマートフォンの磁気センサの取得情報とのマッチングにより現在位置を測位



地磁気の特徴

特徴1：地域による差は見られる（下記参照）が、地磁気の一日の変化はほとんど無い

特徴2：屋内では鉄骨等構造物によって、狭い領域内でも場所ごとの差分（歪み）が生じる（例：ある会議室内で15,000nT～50,000nT）



出展：気象庁 地磁気観測所Webサイト
<http://www.kakioka-jma.go.jp/knowledge/qanda.html>

⇒特徴1（安定性）と特徴2（屋内で歪みやすい性質）より、地磁気は屋内の場所毎に異なる安定的な特徴量として利用できる。

本日のデモ内容

会場内を事前にサーベイして測位環境を整備しております。デモアプリにて、測位をご体験可能です。